

(別添)

2023年11月30日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中 部 支 所

News Release



大掃除は「整理・整頓・セーフティ」に！

～「シュレッダー」「掃除機」「脚立・はしご」の気を付けるポイント～

(東海4県版)

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、2018年度～2022年度^{※2}までにシュレッダーや掃除機^{※3}、脚立・はしごによる製品事故は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)で合計40件あり、被害状況は重傷7件(17.5%)、軽傷9件(22.5%)、拡大被害18件(45%)、製品破損6件(15%)に至っています。そのうち20件(50%)が火災に至っています。また、シュレッダー及び脚立・はしごは100%人的被害に至っており、掃除機は約80%火災に至っており大きな割合を占めています。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。

(※2) 2018年4月1日～2023年3月31日に発生した事故を対象とします。

(※3) 本資料では、掃除機に掃除機用のバッテリーも含めています。

1. シュレッダー、掃除機、脚立・はしごによる製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1にシュレッダー、掃除機、脚立・はしごによる製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 シュレッダー、掃除機、脚立・はしご「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)^{※4}

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
2018年度	3 (2)	1	2	0	6 (2)
2019年度	3 (2)	8 (3)	1	2 (2)	14 (7)
2020年度	3 (2)	2	0	0	5 (2)
2021年度	0	2 (1)	2	1	5 (1)
2022年度	3 (3)	4 (3)	2 (1)	1 (1)	10 (8)
合計	12 (9)	17 (7)	7 (1)	4 (3)	40 (20)

(※4) ()は火災件数。

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 にシュレッダー、掃除機、脚立・はしごによる製品事故の「県別」及び「被害状況別^{※5}」の事故発生件数を示します。

表 2 シュレッダー、掃除機、脚立・はしご「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※4}

被害状況 ^{※5}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	1	3	3	0	7
	軽傷	1 (1)	4	3	1	9 (1)
物的被害	拡大被害	7 (7)	7 (6)	1 (1)	3 (3)	18 (17)
	製品破損	3 (1)	3 (1)	0	0	6 (2)
合計		12 (9)	17 (7)	7 (1)	4 (3)	40 (20)

(※5) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 東海 4 県の製品別 事故発生件数

シュレッダー、掃除機、脚立・はしごによる製品事故の「県別」及び「製品別」を表 3-1 に「被害状況別^{※5}」及び「製品別」を表 3-2 に事故発生件数を示します。

表 3-1 シュレッダー、掃除機、脚立・はしご「県別」及び「製品別」の事故発生件数（単位：件）^{※4}

製品別	静岡	愛知	岐阜	三重	合計
シュレッダー	1(1)	1	1	0	3(1)
掃除機	10(8)	10(7)	1(1)	3(3)	24(19)
脚立・はしご	1	6	5	1	13
合計	12(9)	17(7)	7(1)	4(3)	40(20)

表 3-2 シュレッダー、掃除機、脚立・はしご「被害状況別^{※5}」及び「製品別」の事故発生件数（単位：件）^{※4}

製品別	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	合計
シュレッダー	1	2(1)	0	0	3(1)
掃除機	0	0	18(17)	6(2)	24(19)
脚立・はしご	6	7	0	0	13
合計	7	9(1)	18(17)	8(2)	40(20)

2. シュレッダー、掃除機、脚立・はしごによる製品事故の事故事例

(1) シュレッダー：無理に押し込もうとする等して投入口に指を近付けた

2019年12月（岐阜県、年代不明・女性、軽傷）

【事故内容】

使用中のシュレッダーに手指が挟まり、軽傷を負った。

【事故原因】

裁断する紙が引き込まれた際に手を放すのが遅れたため、指が投入口に引き込まれ、挟まったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「裁断物が引き込まれ始めたらすぐに手を放す。」旨、記載されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】シュレッダー、裁断、投入口

(2) 掃除機：電源スイッチの保護カバーが破れたまま使用

2021年2月（静岡県、年代・性別不明、製品破損）

【事故内容】

掃除機から出火し、焼損した。

【事故原因】

電源スイッチの保護カバーが破れたまま使用し続けたため、電源スイッチ内に粉塵が侵入し、固定接点と支持金具との間で絶縁不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「火災等の原因になるため、使用しないとき、電源プラグをコンセントから抜く。安全に使用するため、電源スイッチの保護ゴムに破れがあるとき、交換が必要である。」旨、記載されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】掃除機、電源スイッチ、異常発熱、焼損

(3) 脚立・はしご：

開き止め具を掛けずに使用する等の製品設置の仕方に問題があった（立てかけ角度不適）

2018年10月（愛知県、年代・性別不明、軽傷）

【事故内容】

はしご兼用脚立をはしご状態で使用中、転倒して軽傷を負った。

【事故原因】

被害者が事故品をはしご状態にして2階から1階に降りる際に、事故品の支柱端具に軍手をかぶせていたこと及びはしご状態での立て掛け角度を約60度で設置していたことが影響し、事故品の支柱端具が滑ってはしごが外れ、被害者が支柱の上に落下したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「はしごの立て掛け角度は約75度にする。はしご兼用脚立を加工や改造をしない。」旨、記載されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】はしご、脚立、降りる、支柱、落下、角度

3. シュレッダー、掃除機、脚立・はしごによる製品事故の実験映像について

シュレッダー、掃除機、脚立・はしごによる製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITE のロゴ “nite”」としてください。

事故品・事例を確認

一般消費者用検索ツール「SAFE-Lite」のご紹介

NITEはホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite（セーフ・ライト）」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 浅井 幹夫

担当者：横山、横田

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902